

吉増剛造 Gozo Yoshimasu

1939 東京都生まれ

1963 慶應義塾大学 文学部国文学科卒業

主な個展

- 2027 クンストハレ・チューリッヒ
サーペンタイン・ギャラリー、ロンドン；The FLAG Art Foundation、ニューヨーク - 2028
- 2026 「Gōzō Yoshimasu: « Cher Monstre »」 Peter Freeman、パリ
- 2025 「吉増剛造展『アイウエオ、ノ、ア！』」 Signal、東京
- 2024 「ネノネ」 Signal、東京
- 2023 「フットノート——吉増剛造による吉増剛造による吉増剛造」前橋文学館、群馬
「普遍言語へ——詩人・吉増剛造の世界展」井上靖記念館、旭川市、北海道
- 2022 「Voix」Take Ninagawa、東京
「詩人・吉増剛造 芥川龍之介への共感」田端文士村記念館、東京
- 2021 「怪物君」Take Ninagawa、東京
- 2020 「吉増剛造展 Voix」artspace & café、足利市、栃木
- 2018 「吉増剛造」Art Office Ozasa、京都
- 2017 「吉増剛造展」Shumoku Gallery、名古屋
「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」足利市立美術館、栃木；沖縄県立博物館・美術館、那覇；渋谷区立松濤美術館、東京
「吉増剛造 火ノ刺繍—『石狩シーツ』の先へ」（札幌国際芸術祭 2017）、北海道大学総合博物館、札幌
- 2016 「声ノマ 全身詩人、吉増剛造展」東京国立近代美術館、東京
- 2014 「吉増剛造展 水機ヲル日、.....」テンプラリースペース、札幌
- 2013 「吉増剛造展 怪物君」テンプラリースペース、札幌
「吉増剛造展 As though Tattooing on My Mind」大和ジャパンハウス、ロンドン
- 2010 「盲いた黄金の庭」BLD ギャラリー、東京
- 2008 「詩の黄金の庭 吉増剛造」北海道立文学館、札幌
- 2006 「白を襲ねる」ワセダギャラリー、東京
- 2005 「A drop of light」Galerie José Martinez、リヨン

TAKE NINAGAWA

- 2004 「吉増剛造展 書物のヴィジョン——生涯は夢の中径——」 徳島県立文学書道館
- 2003 「ヒカリノオチバ」 青山ブックセンター本店、東京
「Poetic Spectrum—Images, Objects, and Words of Gozo Yoshimasu」 ロケーション・ワン、ニューヨーク
「詩ノ汐ノ穴 Shi-no-shio-no-ana」 photographer's gallery、東京
「一滴の光 1984-2003」 城西国際大学水田美術館、東金市、千葉
- 2002 「As though Tattooing on My Mind」 Galerie José Martinez、リヨン
「瞬間のエクリチュール」 ポロライドギャラリー、東京
- 2000 「風ノ身体」 大阪造形センター・ギャラリー
「パランプセストの庭」 ロゴスギャラリー、東京;Galerie Claude Samuel、パリ;
CCI Alsace Eurométropole、ストラスブール、フランス
- 1998 「水邊の言語オブジェ：吉増剛造 —— 詩とオブジェと写真」 斎藤記念川口現代美術館、埼玉
「鯨、疲れた、.....」 ギャラリーヴェリタ、東京
- 1997 「心に刺青をするように」 ギャラリーヴェリタ、東京
- 1996 「吉増剛造展 百葉 / 界川 / 宇宙函」 テンポラリースペース、札幌
- 1994 「石狩河口 / 坐ル」 テンポラリースペース、札幌
- 1991 「アフナルバルへ」 西田画廊、奈良
「アフナルバルへ」 中森花器店、札幌
「アフナルバルへ」 ヴォイスギャラリー、京都
- 1990 「火ノ邦ノ螺旋ノ歌」 島田美術館、熊本
「アフナルバルへ」 ギャラリー 1956、沖縄
「アフナルバルへ」 ギャラリーヴェリタ、東京

主なグループ展

- 2026 「ジョナス・メカス / 吉増剛造」 Take Ninagawa、東京
「The Ecology of Relationships: The Forest is the Sea's Lover」 マルセイユ現代美術センター
Condo London 2026、Amanda Wilkinson、ロンドン
- 2025 第15回上海ビエンナーレ「花はミツバチを聞くのだろうか？」
AWT Focus 2025「リアルとは？」（監修：アダム・シムジック）大倉集古館、東京
第36回サンパウロ・ビエンナーレ「すべての旅人が道を歩くわけではないーヒューマニティの実践」
「新しい南画の世界ー 浜口陽三と後藤理絵、重野克明、染谷悠子、西久松綾、吉増剛造ー」 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション、東京
「Blumen」 Take Ninagawa、東京
- 2024 AWT Focus 2024「大地と風と火と：アジアから想像する未来」（キュレーション：

TAKE NINAGAWA

- 片岡真実) 大倉集古館、東京
「One Single Book」 ギャラリー小柳、東京
- 2023 AWT Focus 2023「平衡世界:日本のアート、戦後から今日まで」(キュレーション:保坂健二郎) 大倉集古館、東京
「15」 Take Ninagawa, 東京
- 2021 「Poet Slash Artist」 Manchester International Festival、マンチェスター
- 2019 MOT アニュアル 2019「Echo after Echo: 仮の声、新しい影」 東京都現代美術館
Reborn-Art Festival 2019「いのちのてざわり」 石巻、宮城
- 2018 「Sharjapan: The Poetics of Space」 Al Hamriyah Studios、シャルジャ
- 2017 札幌国際芸術祭 2017「吉増剛造火ノ刺繍——『石狩シーツ』の先へ」
MOT サテライト 2017 春「往来往来」 東京都現代美術館
- 2015 信濃の国 原始感覚芸術祭、長野
- 2014 青森 EARTH2014「第二部 縄目の詩、石ノ柵」 青森県立美術館
「街かど美術館 アート@つちざわ」 花巻市、岩手
- 2010 第2回恵比寿映像「詩をさがして」 東京都写真美術館
アートシネマフェスタ奈良前衛映画祭
- 2006 パラチ国際文学祭、リオデジャネイロ
- 2004 「ブラジル・ボディ・ノスタルジア」(with Marylya) 東京国立近代美術館
- 2002 「融点・詩と彫刻による」 うらわ美術館、埼玉
- 1996 メデジン国際詩祭、コロンビア
- 1995 「吉増剛造写真展 + 柳澤紀子銅版画展」 Yamaha Gallery、浜松、静岡
- 1991 ジャパンフェスティバル 1991、国際交流基金、ロンドン
第21回サンパウロ・ビエンナーレ、Pavilhão Ciccillo Matarazzo
- 1990 「界川游行」 札幌

受賞

- 2026 Serpentine × FLAG Art Foundation Prize
- 2015 日本芸術院賞・恩賜賞
- 2013 文化功労賞
旭日小綬賞
- 2003 紫綬褒章

主な出版物

- 2024 『DOMUS X』 コトニ社
- 2021 『Voix』 思潮社 [第1回西脇順三郎賞受賞]
『詩とは何か』 講談社現代新書 2641、講談社
- 2019 『裸の common を横切って エマソンへの日米の詩人の応答』 (フォレスト・ガ

TAKE NINAGAWA

- ンダー・堀内正規との共著) 小鳥遊書房
- 2018 『舞踏言語』 論創社
『火ノ刺繍 吉増剛造 2008-2017』 響文社
- 2016 『GOZO ノート』 全3巻、慶應義塾大学出版会株式会社
『Alice Iris Red Horse: Selected Poems of Yoshimasu Gozo』 New Directions
『瞬間のエクリチュール』 edition.nord
『怪物君』 みすず書房
『我が詩的自伝 素手で焰をつかみとれ!』 講談社
『根源乃手』 響文社
- 2012 『詩学講義 無限のエコー』 慶應義塾大学出版会
- 2011 『裸のメモ』 書肆山田
- 2010 『木浦通信』 (樋口良澄との共著) 矢立出版
『盲いた黄金の庭』 岩波書店
- 2009 『静かなアメリカ』 書肆山田
『キセキ——gozoCiné』 オシリス
- 2008 『表紙 omote-gami』 思潮社 [第五十回毎日芸術賞受賞]
- 2007 『死人』 JINYA DISC
- 2006 『機——ともに震える言葉』 (関口涼子との共著) りぶるどるしおる 60、書肆山田
『アーキペラゴ——群島としての世界へ』 (今福龍太との対話集) 岩波書店
『何処にもない木』 試論社
- 2005 『Gozo Yoshimasu, a drop of light』 Fage Editions 社
『In between 11: 吉増剛造 アイルランド』 EU・ジャパンフェスト日本委員会
『アジアの渚で』 (高銀との対談集) 藤原書店
『天上ノ蛇、紫のハナ』 集英社
- 2004 『長篇詩 ごろごろ』 毎日新聞社
- 2003 『詩をポケットに—愛する詩人たちへの旅』 日本放送出版協会
- 2002 『The Other Voice』 思潮社
『ブラジル日記』 りぶるどるしおる 32、書肆山田
- 2001 『剥きだしの野の花——詩から世界へ』 岩波書店
『ドルチェ——優しく・映像と言語、新たな出会い』 (アレクサンドル・ソクーロフ・島尾ミホとの共著) 岩波書店
『燃えあがる映画小屋』 青土社
- 2000 『ことばの古里、ふるさと福生』 矢立出版
『賢治の音楽室』 (宮澤賢治・林光との共著) 小学館
- 1999 『生涯は夢の中径——折口信夫と歩行』 思潮社
『吉増剛造詩集』 ハルキ文庫、角川春樹事務所
『はるみずのうみ—たんぽぽとたんぷぷ』 (与那覇幹夫・中川潤・宮川耕次・矢

TAKE NINAGAWA

- 口哲男との対談集）矢立出版
- 1998 『「雪の島」あるいは「エミリーの幽霊」』集英社〔芸術選奨文部大臣賞受賞〕
『この時代の縁で』（市村弘正との対談集）平凡社
『特集・吉増剛造』ハンガー 19、私家版
- 1997 『盤上の海、詩の宇宙』（羽生善治との対談集）河出書房新社
- 1995 『花火の家の入口で』青土社〔新装版 2001 年出版〕
『石狩シーツ』アンジェリカハウス
- 1994 『続続・吉増剛造詩集』現代詩文庫 116、思潮社
『続・吉増剛造詩集』現代詩文庫 115、思潮社
- 1993 『木の骨』（城戸朱理との共著）矢立出版
- 1992 『死の舟』りぶるどるしおる 8、書肆山田
『慈悲心鳥がバサバサと骨の羽を拡げてくる』りぶるどるしおる 6、書肆山田
『八月の夕暮、一角獣よ』現代詩人コレクション、沖積舎
『ことばのふるさと』矢立出版
- 1990 『螺旋歌』河出書房新社〔第六回詩歌文学館賞受賞〕
- 1989 『スコットランド紀行』書肆山田
- 1987 『透谷ノート』小沢コレクション 19、小沢書店
『打ち震えていく時間』思潮社
- 1986 『緑の都市、かがやく銀』小沢書店
- 1984 『オシリス、石ノ神』思潮社〔現代詩花椿賞受賞〕
- 1983 『大病院脇に聳えたつ一本の巨樹への手紙』中央公論社
- 1982 『そらをとんだちんちんでんしゃ』（堀口晃との共著）小学館
- 1981 『静かな場所』書肆山田
『螺旋形を想像せよ』小沢書店
- 1979 『青空』河出書房
『熱風 a thousand steps』中央公論社〔歷程賞〕
- 1978 『吉増剛造詩集 1—5』河出書房
『新撰 吉増剛造詩集』新撰現代詩文庫 111、思潮社
『太陽の川』小沢書店
- 1977 『草書で書かれた、川』思潮社
- 1976 『わたしは燃えたつ蜃気楼』小沢書店
- 1974 『わが悪魔祓い』青土社
- 1973 『王國』河出書房
『朝の手紙』小沢書店
- 1971 『吉増剛造詩集』思潮社
『頭脳の塔』青地社
- 1970 『黄金詩篇』思潮社〔高見順賞〕

TAKE NINAGAWA

1964 『出発』新芸術社

テレビ、ラジオ、映画への出演

- 2022 「眩暈 VERTIGO」(監督：井上春生)
「背 吉増剛造×空間現代」(監督：七里圭)
- 2021 「SWITCH インタビュー 達人達」NHK
- 2018 「幻を見るひと」(監督：井上春生)
- 2016 「断食芸人」(監督：足立正生)
- 2006 「島ノ唄 Thousands of Islands」(監督：伊藤憲)
「柳田國男 詩人の魂」NHK
- 2002 「文学と風土 詩をポケットに」NHK
- 2000 「アーティストたちの挑戦 二重露光・驚きの映像が生む詩」NHK
- 1998 「四国八十八か所」NHK
「ブラジル・赤土とジャカランダへの道ー世界・わが心の旅からー」NHK
- 1997 「ETV 特集・漂泊を生きた詩人たち」NHK
「未来潮流 羽生善治・吉増剛造 盤の海、詩の宇宙」NHK
「ETV 特集・知られざる俳句王国ブラジル」NHK
- 1996 「映像作家 ジョナス・メカス ～ OKINAWA・TOKYO 思索紀行」NHK
「現代詩実験室」NHK
- 1985 「あじさいならい」(監督：鈴木志郎康)

シアター公演

- 1998 立川国際芸術祭「Gozo-Opera：san' nai」国際交流基金、東京